



奥 久明

能勢町空家等対策計画

- 一、能勢町空家等対策計画
- 二、空き家の利活用
- 三、空家バンク

問 管理が不適切な空家の戸数について問う。

答 把握をしているのは本町全体で15件である。

問 「特定空家等」に認定された場合はどうなるのか問う。

答 空家の適切な管理がなされなければ、①助言・指導、②勧告、③命令、④行政代執行を順に行う。

問 ③命令がなされた場合の対応を問う。

答 住宅用の軽減措置が廃止され、固定資産税額が増額となる。

空家の利活用

問 具体的な事業はあるのか問う。

答 移住相談窓口での情報提供、大阪版空家バンクの活用や空家管理相談会等の情報発信を行っている。



問 ホームページ上の大阪版空家バンクと全国移住ナビをさらに充実させてはどうか問う。

答 ホームページの修正を依頼したり、他市町村の状況を見て判断する。



空家バンク

問 これまでの移住希望者の登録者数と物件の成約数について問う。

答 移住希望者の登録者数は27件。窓口を介した成約数は3件。

問 本町と協定締結しているのは町内業者2社だけである。間口を広げるために、さらに宅建協会と協定してはどうか。

答 入居後のトラブルを避けるため、地域事情に精通した町内業者で進めて行きたい。

一般質問



森田 則子

防災・減災対策

問 地域の防災体制強化のため、自主防災組織の推進状況を問う。

答 現在の杉原区に加え、地黄北区・南区、田尻下区、宿野1区が立ち上げ予定。今後もコミュニケーション・助成事業を活用するなど整備を支援していく。

問 AEDの町内の設置場所を正確に知るには。

答 日本救急医療財団の全国AEDマップの町内設置一覧で閲覧可能。設置場所情報は、適切に更新していく。

問 区単位で避難訓練を実施してはどうか。

答 自主防災組織の区は、避難訓練を実施する予定、日程等も伺っている。

防災・減災対策で、災害に強いまちづくり

問 備蓄品の中に、お湯や哺乳瓶の消毒がいらない液体ミルクを、加えたらどうか。

答 国のガイドラインの方針を参考に考えたい。

問 高齢者や助けを必要とする人の避難対策のため、地域の「共助」の取り組みを問う。

答 今年度そういう方の名簿の更新作業を民生委員児童委員と協議して進めていきたい。



問 家具転倒防止及び取り付けサービスなどの耐震補強の補助を実施している市町村があるが、本町も行ってはどうか。

答 参考にしていきたい。

問 新庁舎建設の際、かまどベンチ・簡易トイレなど備えた防災公園的な設備を取り入れたらどうか。

答 具体的に、防災に特化した公園的なものの検討はない。

問 防災ハンドブックの製作や、女性防災リーダーの育成が必要と思うが、どうか。

答 防災ハンドブックは他市町村が作成しており、本町も検討している。女性防災リーダーも地域の防災力向上の観点から育成に努めていく。